

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月20日

上場会社名 大日本塗料株式会社

コード番号：4611 東証・大証第一部

(URL <http://www.dnt.co.jp>)

代表者 取締役社長 豊松 正文

問合せ先責任者 常務取締役 金子 弘

TEL (06) 6466-6665

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
における認識の方法との相違の有無
連結及び持分法適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益
平成16年3月期第3四半期	53,682 ^{百万円}	863 ^{百万円}	433 ^{百万円}
(参考)平成15年3月期	72,612	1,694	1,080

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. 当第1四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における当社グループの経営環境につきましては、照明事業および海外の塗料事業が比較的堅調に推移いたしました。国内の塗料事業は、主力の重防食塗料が引き続き公共投資の支出抑制・建設投資の不振等の影響を受け、また、得意とする住宅建材用塗料も住宅着工件数が伸び悩んだうえに競争激化に伴い販売価格の下落が著しく、一般塗料分野、工業塗料分野とも厳しい状況を余儀なくされました。

これらの結果、当第3四半期を含む9ヶ月間の連結売上高は536億8千2百万円、経常利益は4億3千3百万円にとどまりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

なお、昨年7月23日に情報開示いたしました当社鶴見工場(大阪市)土地売却の件につきましては、当初予定のとおり20億円にて売却、12月26日に物件引渡しを完了しました。

本件譲渡益は17億1千4百万円ありますが、昨年11月21日発表の平成15年3月期中間決算短信「平成16年3月期の連結業績予想」は、本件譲渡による特別利益の発生を想定したうえでの利益額としております。

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	72,000	1,200	500

[業績予想に関する定性的情報等]

当社の業績は、第3四半期まで若干低い水準で推移しておりますが、昨年11月21日公表の業績予想を修正する必要はないと判断しております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上